

(認特) 浜松 NPO ネットワークセンター
2024 年度 事業計画案 (2024/4/1~2025/3/31)

1. 民間非営利組織の発展を支える事業

- (1) 共同事務所運営：会議室・事務機器の貸し出し、事務局代行、交流コーナー
- (2) 啓発
 - 1) ネットワーク事業
 - ・静岡県労働者福祉基金協会主催 NPO パートナー委員会参加 福祉事業団体と NPO の連携
 - ・静岡県西部 NPO 法人会・幹事会
 - ・「浜松市 SDGs 推進プラットフォーム」会員
 - ・「浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム」パートナー会員
 - ・内閣官房 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム協力会員
 - ・ふじのくに孤独・孤立対策プラットフォーム加入団体
 - 2) フードバンク【寄付による自主事業】
 - 3) NPO 法人・市民活動相談（設立・解散・活動・会計ほか）
- (3) 情報交差点
 - 1) 情報受発信
 - ・ニュースレター年 4 回、ホームページ、ブログ、Twitter で発信、出版
 - ・2021 年度に設置した facebook グループ「いいないいな浜松の公園」の運営管理
 - ・“ふじのくに” i (アイ) マップ支援団体登録
 合同相談会参加（沼津・富士・静岡・島田・浜松会場）
 - 2) N-Pocket サロン
 - ・ズーム利用を利用したパブコメおしゃべり会など
 - 3) 講師派遣
- (4) 地域資源調査
 - 1) Web サイト「はままつ市民のかきらきら BOX」他の更新
 - 2) 子ども事業「多様な困難を抱える子ども・わかもの声をきいて行う居場所づくり」における調査活動「青少年の声をきくヒアリング調査」、「居場所調査」
- (5) 寄付キャンペーン
 - 1) 子ども支援
 - 2) ICT
- (6) 提言
 - 1) 行政機関等の各種委員会委員
 - 2) パブリックコメント
 - 3) 子ども育成条例に係る女性議連との協働

4) 子ども事業「多様な困難を抱える子ども・わかもの声をきいて行う居場所づくり」における「若者の声をきいて、青少年の居場所を考えるみんなの円卓会議」

2. 多様な人々の社会参加を支える事業

(1) 障害のある人

1) 障害者職場定着支援事業 (23年目)

① ジョブコーチ派遣

支援対象者 300人 派遣件数 3,600人日

② ジョブコーチスーパーバイザーによる企業内ジョブコーチへのアドバイス支援 (5年目)

派遣数 280人日 (ジョブコーチ養成研修受講企業へのフォローを含む)

③ ジョブコーチスキルアップ研修 10回 (基礎編6回、応用編4回)

ジョブコーチの資質の向上を図る講座を全県数ヶ所で開催

(テレワーク雇用の支援、特定短時間労働者の支援を含む)

④ 障害者職場定着支援者養成研修 5日間×2回

第1回 現地 第2回 現地+Zoom

静岡県ジョブコーチ希望者および施設、企業などの支援者向け研修

ジョブコーチ活動希望者には研修後、実習の実施

企業内ジョブコーチにはスーパーバイザーがフォロー

⑤ 精神障害者職場環境アドバイザーの派遣 (7年目)

96社 288人日 定着支援人数目標 100人

⑥ 関係機関との連携

オールしずおかバーストコミュニティコーディネーター・職域拡大コーディネーターとの連絡会 (各地月1回)

2) 静岡県ジョブコーチ派遣事業運営のための付随事業

① 拠点ミーティングおよび代表者会議 それぞれ月1回

② ブログ発信 <https://blog.canpan.info/shizuokakenjobcoach/>

③ 静岡県ジョブコーチ アドバイザリーボード (11年目)

④ 関係団体とのネットワークづくり

3) 障害者職業センタージョブコーチ事業 (障害者職場適応援助者助成金事業) (22年目)

【独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構】

職業センターとの連携の下に実施する訪問型ジョブコーチ支援事業 (ジョブコーチ1名)

4) 障害者雇用コンサルタント

① 磐田市の病院での支援 (中遠拠点)

② 藤枝市の病院での支援 (志太榛原)

③ 静岡県人事課

職員向け意識啓発研修

障害のある職員の定着を目的とした個別相談会、相談員派遣

障害のある職員の職場定着のための JC 派遣

- ④ 自治体や企業を対象にした JC 利用契約促進のための訪問活動

(2) ICT による社会参加支援

1) 障害者在宅 ICT 機器講習

- ① 西部地域 (13 年 + 8 年目)
- ② 中部地域 (4 年目)
- ③ 東部地域 (4 年目)

2) 障害者福祉施設内での iPad 講座 12 回 + PC 講座 24 回

3) バリアフリーオアシス (相談、在宅訪問) 【寄付】

(3) 子どもの社会参加支援

1) 多様な困難を抱える子ども・わかもの声をきいて行う居場所づくり

① 訪問型得意支援

(不登校、外国ルーツ、経済的貧困等困難を抱えた青少年)

② 調査活動「青少年の声をきくヒアリング調査」、「居場所調査」(中間支援・再掲)

(定時制・通信制に通う高校生や居場所活動を行う公的施設や NPO)

③ 若者の声をきいて、青少年の居場所を考えるみんなの円卓会議 (中間支援・再掲)

2) 浜松市子育て見守りサポート実施業務による支援

・実施団体 NPO 法人しずおか・子ども家庭プラットフォーム

3. 組織の管理運営

(1) 事務局

1) 事務局会議：事務局に勤務する全スタッフによる事務局会議を、毎週開催。各事業担当者から 1 週間の進捗報告と予定、事務局より事務連絡、組織運営のための相談・協議を行う。

2) 拡大事務局会議：年 1 回、年間戦略会議を持ち、各事業の棚卸、課題の共有、今後の展望等について議論する場を持つ

(2) 理事会

1) 任期満了に伴う役員改選。

2) 2 回の理事会を開催し、事業運営、組織運営に関わる協議を行う。

(3) 総会

総会を開催する。